



第6回ふれあい人権講座

「世界の人権」

「カースト制度と

アンベードカル」

日南町人権教育サポーター

伊田 哲朗さん

カースト制度は、ヒンドウー教と密接に関わるインド伝統の厳しい身分制度です。主には、上からバラモン(司祭)、クシャトリア(王侯・武士)、バイシャ(庶民)、シュードラ(隷属民)の4つの階層でピラミッド型になっています。それぞれの階級はさらに職業等で3千にも細分化されています。これだけでも厳しい差別構造ですが、インドにはこれ以外の最下層に何億人もの不可触民(触れてはいけない人)とされる人々がいます。ケガレを持つとされ、他の階層の人とは言葉すら交わせない過酷な差別を受け続けています。

インド独立後初代の法務大臣であるアンベードカルは、この不可触民の出身でした。幼少期から優秀だった



た彼は、地方の有力者の支援を受けイギリスやアメリカに留学して博士号や弁護士資格を取得し、帰国後、不可触民への差別の撤廃や生活の向上のための運動に取り組みました。

そして法務大臣となり、カースト制度の廃止を盛り込んだ憲法を定めました。しかし何千年もの歴史を持ち宗教や生活習慣と一体であるカーストは、憲法に関わらず存続しました。失意のうちに法相を辞任した彼は、不可触民解放のために活動を続ける中で、カーストの温床であるヒンドウー教から仏教に改宗し、仏教の復興運動を興しました。この時に彼に従い改宗した不可触民は50万人とも言われています。

インドの偉人と言えれば独立の父ガンジーがとて有名ですが、熱心なヒンドウー教徒で伝統的価値観を重視しカーストを否定せず、不可触民を理解しているかのようなバフォーマンスが目立ったガンジーと、アンベードカルは袂を分かった、とのことでした。

第7回ふれあい人権講座のご案内

「部落の歴史」

部落差別はなぜ残ったのか

部落史研究者 新井 宏則さん

部落差別はなぜ残ったのか、その中で、「解放令はなかった」といったお話や、「部落差別の起こりと、部落問題の起こりは違う」というこれまでの部落史の見直しにも触れ、部落差別が今日まで残っている理由に迫って頂きます。

日時 10月2日(水) 18時30分～20時
場所 町人権センター

第8回ふれあい人権講座 視察研修のご案内

「国立療養所大島青松園視察研修」

【日程】日南町役場出発(7時)～高松港フェリー～大島着(11時35分)～大島青松園昼食～研修～大島フェリー(15時)～日南町役場着(19時)

○大島青松園での施設見学○社会交流会館見学○講話(入所者の体験の話。入所者さんの体調によりDVDで行う場合もあります)

○参加費：昼食は個人負担になります。旅行保険(1000円)は当日集金します。

○参加申し込み町人権センター (TEL0859-8210076)

○定員15名になりしだい締切らせて頂きます。申し込み締め切り10月25日(金)

日時 11月5日(火)
場所 香川県高松市

令和元年度日南町同和教育 研究集会のお知らせ

テーマ「戦争と人権を考える」

知覧特攻平和会館(鹿児島県)の語り部の方に特攻の歴史的背景と特攻隊員の遺書・手紙等について話して頂きます。

日時 11月16日(土)
受付 8時30分～9時
会場 町総合文化センター さつきホール ほか

10月の人権相談・行政相談のご案内

日常生活の困りごと、人権問題、行政に関することなど相談に応じております。相談内容については一切秘密が守られます。無料ですので、どうぞお気軽に相談下さい。

日時 10月11日(金) 9時～12時
場所 子育て支援センター
日時 10月20日(日) 9時～12時
場所 多里地域振興センターで巡回行政相談

お問い合わせ
人権センター内

TEL 8210076

